



掃除で心を磨く

校長 水島 祐司

35年ぶりの大雪による臨時休業でスタートした3学期も2月に入りました。その節は、子供たちの送迎にご理解とご協力をいただき有難うございました。

最後の学期となる3学期は、とても重要な学期です。始業式では、「仕上げと準備の学期に」という話をしました。そのためには、「1つ上の学年になったつもりで」「1日、1秒を大切に過ごす」ことが大切だとも伝えました。

前号でもお伝えしたように、3学期も「心を育む学期」にすることを重点にしています。その一環として、掃除に力を入れて取り組んでいます。

清掃指導では、以下の点を徹底することとしています。

- ①始まりの時間までに清掃場所に集合し、挨拶をしてから始める。
- ②時間いっぱい隅々まで掃除をする。
- ③おしゃべりをしないで取り組む。
- ④片付けをきちんとする。
- ⑤終わりの時間には再度集まり、振り返りをして終わる。



一度に全部のことができるようにはならないと思います。子供と指導する教員の根競べだと思っています。大切なのは、全ての児童、全ての教員が一つのことにじっくり取り組むことだと考えています。

私は、この清掃指導に2つのことを期待しています。

1つ目は「時間のけじめ」をつけることです。決められた時間に集まり、時間いっぱい掃除をするという形から入ることで身に付いていくと考えます。「時刻を守る」ことで自分の生活にけじめをつけ、充実した毎日を送ることができるようになります。時刻を守り、一日一日を大切に過ごすことは、自分を大切にすることにつながります。きまりを守る心を育てる第一歩であり、自立心が育ちます。

2つ目は、きれいになった気持ちよさを味わわせることです。併せて学校やクラスのために役に立った喜びを味わわせることを期待しています。達成感や自己有用感を高めることで、学校生活は必ず潤いのあるものになります。このような学校生活を送ることができれば、子供たちの「やる気」や「忍耐力」は高まり、目標に向かって努力する力はどんどん向上していくはずです。

各家庭におかれましては、お子さんの学校での掃除の様子を聞き、励ましの声をかけていただければと思います。よろしくお願いいたします。